旅と文化

発行所
東京都千代田区
神田神保町 1～30
財団法人 全国
修学 旅行 研究協会
電(301)0531・2429
編集・発行人
永井 熙

本号の第2面記事
① 都の交通規制、修学旅行に特例
② 校外学習の計画と指導 ③ 鈴木 英男
③ 三重県修旅委に専任職員
④ 飛躍した神戸市

法人創立の
5周年記念式典開かる

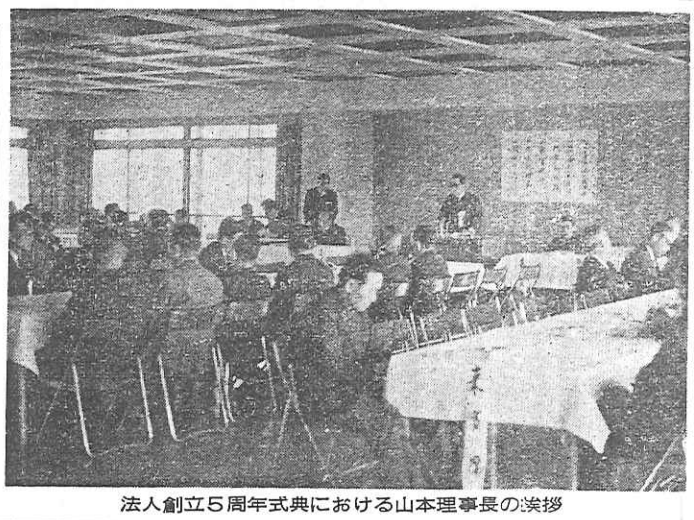
修旅の向上を期し
協会の事業
益々発展
多数の来賓、支部長参集

財団法人全国修学旅行研究協会は、文部省より財団法人として認可されてからここに五周年を迎えたので、東京において官界政界、教育界、関係諸団体より多数の来賓を迎え、盛大な記念の式典を挙げると共に、協会の各県支部長、評議員、参与等を集めた第四回総会を、二日間に亘り東京と熱海において盛大に開催した。

協会創立五周年記念総会は、三月八、九日の二日間にわたり、第一会場を東京都平河町の都道府県会館六階大会議室、第二会場を熱海しおみや旅館大広間において開催されたが、八日は午前十時より、文部大臣、衆参議員、市長代表教育委員会代表、国鉄、私鉄、修旅委、関係諸団体、ツーリスト、小学館など、多数の来賓出席のもとに、開会のことばについで山本理事長の挨拶があり、事業経過の報告ののち、来賓の祝辞があり、正午まで記念式典を終り、次いで一時半より協会第四回総会に移り資格確認、開会宣言、議長団選出及び挨拶、議事録署名委員並びに書記任命、理事長挨拶、一般会計報告、質疑応答の後議事に入り、三十六年事業報告、三十七年度事業計画、及び事業推進の件などを審議し、次いで役員並びに評議員選出を行い、新支部長承認、新旧役員、支部長挨拶の後、午後二時半一たん休憩に入つた。

休会後は直ちにバスにて第二会場の熱海へ直行し、しおみや旅館に宿泊した。

九日は午前中、修学旅行対策、研修旅行対策の二分科会を行い、昼食の後、再び全体会議を行い、二日間にわたる全日程を終了した。


法人創立5周年式典における山本理事長の挨拶

法人創立五周年を迎えて

財団法人 全国修学旅行研究協会
理事長 山本 種一

公益法人として修学旅行を安全快適に、しかもより教育効果を挙げるために、日夜これが改善と向上のために努力を致してきました当協会は、第五周年を迎えるに当り、いよいよ財団事業の発展を期して、更に一層の覚悟を新たにするものでございます。

かえりみますと、任意団体から法人団体へと協会の基礎が確立してから今日まで、関係官庁や、諸団体をはじめとして、各方面の皆様より御指導と御鞭撻を賜わり、また、各県支部長を中心として、同志的な暖かい御協力によりまして微力ながら第五周年を迎えることになりました。ここに謹んで感謝の意を表します。既に新聞やラジオ、テレビで御承知のように、三十五年四月には東海三県中学生の修学旅行専用電車〝こまどり〟号の運行を見、三十七年三月にはわが国で初めての、小学生のためにオール二階建て修学旅行専用電車〝あおぞら号〟や、これまた世界でも珍らしいといわれる修学旅行専用船〝わかば丸〟などが相次いで誕生をみる成果を挙げております。

このような協会の活動によりまして、わが国の修学旅行が、安全快適に、楽しく校外学習ができるようになりましたことは、真に喜びに耐えない次第でございます。

次に、修学旅行をより教育的にする意図のもとに年中行事として教職員の方々の現地研修の旅行を毎年夏休みに実施し、過去五年間に亘り全国の先生方二万人を、北海道、九州をはじめ四国、南紀、東北、信州、伊豆箱根一周などの研修旅行に参加していただき、明日の生きた教育のために、いささか貢献して参りました。

この外、毎年数県の学校を指定しまして、修学旅行研究を依頼し、その成果の発表会を開催したり、教職員の修学旅行コースの実地研究、講演会、座談会をはじめ、修学旅行映画、スライド等の作製、単行本〝修学旅行の問題点と研究〟や各種のパンフレット、毎月機関紙〝旅と文化〟等を刊行いたしました。また、修学旅行の実態を知るため、三回に亘り全国的な実態調査をして、その結果は〝修学旅行調査統計〟として各関係官庁や関係団体、学校などに配布しました。とくに、本年は法人創立五周年を記念して、あらゆる資料や文献をもとにして、修学旅行の現状を分析し、この中に含まれる課題について纒めた〝修学旅行白書〟を刊行しましたが、これは修学旅行をよりよくするための一つの方向を示すものとして、必ず関係各位に役立つものがあると信じております。

今後は、教育の機会均等の立場から、全国の学童、生徒が等しく近代的修学旅行の恩典に浴し得るよう、各都道府県教育界と密接な提携のもとに修学旅行の教育性安全性を基本とした大運動を展開する決意でございます。

法人創立五周年を迎えるにあたり、私共は心を新たにして、ますます修学旅行の改善と向上のため尽す覚悟でおります。

◇　◇　◇　◇　◇　◇

わかば丸
受賞のよろこび

兵庫県尼崎市尼崎市立尼崎高校二年
高原 政子

私達が長い間待ち望んでいた修学旅行専用船が関西汽船で建造され、その船名に私の考えた「わかば」がつけられようとは、正直の所思いもかけぬことでした。

一月も末のある日、級友や先生方からお目出とうと言われどうしていいのかとまどつてしまいました。転ぶように帰宅して二三の新聞で確めるまでは夢中でした。

私は、新らしい、しかも世界でただ一つというその船で楽しい旅に出て立つ若者達の姿を、一粒の種子から芽生えて双葉となり、やがて、みずみずしい緑の若葉をふけた樹に成長して行く姿として心に描きながら、「わかば丸」の名を思いついたのでした。

私の名づけた「わかば丸」が、私の愛する瀬戸内海を、若人達の夢を乗せて、白波を立てて突つ走る……今の私は、そう思うだけで夢みる心地です。

というのは、生れ故郷の高松市の西海岸で、明け暮れ瀬戸内海の美しい情緒に触れて生い立つた私には、瀬戸内海がいわば「私の海」のようなものに思えるからです。

私は、「わかば丸」で旅をした楽しい思い出を持つ幾多の高校生が、必らず立派になつて社会へ力強く巣立つて行くことを信じ、「わかば丸」に幸あれと心から祈ります。

修旅専用電車〝あおぞら号〟
感銘深い入賞

鳥羽市立鳥羽小学校長
谷口 睦夫

私は今朝八時三十分宇治山田発近鉄急行に乗りました。あおぞらの全くよいお天気でした。

修学旅行について、学校としては乗物に随分苦労し心配をするのが毎年のことであります。今回全国修学旅行研究協会と近畿鉄道株式会社が深い御理解と御努力によつて修学旅行専用電車を造つていただきました事は非常に有難く存じています。

殊に近畿鉄道株式会社におかれては児童生徒の為に深い思いやりから電車は近代装備と優れたデザインから出来ている由、心から敬意を捧げたいと思います。今後修学旅行が学習の場として快適な旅をつづけられる事を思いますと感謝に堪えません。

愛称については数ある中から私共の学校がえらばれて、本日受賞の式をお挙げいただき感銘深いものがございます。甚だ簡単で御座いますが一言申し述べて御礼の言葉といたします。

授賞のよろこびで
胸が一杯です

大阪市立玉川小学校六年二組
野田 英二

ただいま「あおぞら」の賞状をいただきました。ぼくたちは、よろこびで胸が一ぱいです。

数千学級の中から選ばれたうれしさ、ぼくたちの名づけた列車、「あおぞら」が、なつかしい思い出の伊勢路を走るのかと思うよろこび、それが今一つになつて、ぼくの胸にひろがつていきます。

修学旅行、これはぼくたち小学生にとつて一番楽しい思い出です新緑の野を快いスピードで走つたあの時のようすが目にちらかびます。

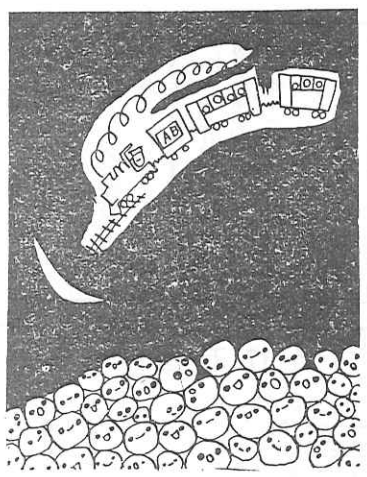
この楽しい修学旅行のため近鉄の専用列車ができ、その名前を募集しているということを聞いたぼくたちは、早速学級会をひらいて応募することに決めました。

〝あおぞら〟〝なかよし〟〝ひえん〟〝快晴〟〝しつよう〟いろいろな名前がとび出しました。「あれだ、これだ」と話し合ううちに一つ消え又一つ消え、残つたのはこの〝あおぞら〟でした。

快晴にめぐまれた修学旅行、青くすみきつた広々とした大空、その下にくりひろげられる思い出、これらの希望をたくして、ぼくたちの「あおぞら」に決定しました。

一月二十五日、先生から「あおぞら」入選の知らせを受けたとき、ぼくたちの教室は大きな歓声につつまれました。

〝あおぞら〟〝あおぞら〟この列車が、これからぼくたちの弟や妹が、そのよろこびを乗せて走るのだと思うとうれしくてたまりません、ほんとうにありがとうございました。



月の世界へ修学旅行
原 いさむ

皆な楽しく・・つゝがなく・・
修学旅行

一のご用命に一
最高水準を行く技術・組織・経験で
誠実なサービスを致しております
営業所　全国に 120ヶ所
近畿日本ツーリスト
本社　東京都千代田区丸の内国際観光会館内231～5561

春の修学旅行の問題点

生徒増で期間延長

影響を及ぼす輸送、宿泊、見学地

春の修学旅行シーズンを迎え、先づ戦後のベビーブームの影響による参加児童生徒増に関連して起る輸送、宿泊、見学の問題であろう。即ち本年は小学生約二百十五万、中学生約二百五十万人、高校生百二万人の七割約三百九拾万人がこの春の修学旅行への参加が見込まれ、しかも春の観光シーズンと重なるため、輸送や宿泊、見学地などに種々の事故発生が心配され、この為に修学旅行の教育的効果が半減することが憂慮されるわけである。

防ぎたい交通事故

望まれる安全対策の確立

国鉄の春季輸送計画では総数一八五万人（中距離以上）の輸送を発表しているが、中学高校の参加生徒数は約二四〇万と見込まれているので、国鉄輸送では非常に困難になるわけである。したがつて専用電車や列車以外は、一般混乗や定員以上の乗車となり、輸送期間が七月の夏季まで延長されることになる。この結果、疲労による交通事故や車酔い、下痢など病気の原因にもなりかねない。

最近の修学旅行では、紫雲丸や相模湖のような痛ましい大きな事故は起らなくなつたが、ひん発する列車事故や交通事故などを考えるとき、本年の春季修学旅行には特に交通安全について万全の対策を立てておくことが必要であろう。

修学旅行の交通安全の対策と指導には、次のような点が考えられる。

一、事前の対策と指導

①列車やバス、船舶の乗り降りや万一の事故発生の場合における生徒の行動や指導についての事前教育を行うこと。

②日程やコースに従つて、交通機関をよく検討し、具体的な交通安全対策とその指導を行う。

二、実地の対策と指導

①交通事故は不意に起る場合がほとんどあるから、その時の処置について、あらかじめ責任教師を定めておき、万全の態勢のもとに旅行を進めること。

②引率教師は列車やバスの車体状況や運転手の健康状態に絶えず留意し、事故発生の危険を感じた場合は、注意やその他の適切な処置を取ること。

③外的原因のほか生徒のいたづらから、不注意などの内的原因による交通事故がしばしば起つているので、生徒の行動にもよく注意をすること。

高校生に多い非行事件

必要な道徳教育と集団訓練

修学旅行は集団による旅行であるから、集団行動を守ることは当然のことである。しかし、戦後の自由教育の行き過ぎから、集団行動を軽視し規律ある集団行動を行わない学校を時々見受けるのは残念である。即ち、集団訓練の欠除から、旅先での痛ましい事故を起していることを忘れてはならない。

次に、道徳教育の欠除と、旅先での解放感とが重なつて、しばしば非行事件が高校生に見られるようである。昨年、京都市内の修学旅行生徒で補導を受けた高校生が、京都府警察本部の報告によると一二〇四件（三月―十一月）の多数に及んでいる。このような非行事件はすべて自由外出の時に限られているので、修学旅行における自由外出のあり方について、教師も父母も十分に検討する必要がある。最近の特長として、警察庁保安局防犯少年課では、高校生のドライブによる死亡事件、睡眠薬服用遊びなどの例をあげているが、これは現在の社会情勢の影響を受けているので見逃がしてはならないことである。

校外学習の計画と指導③

東京都北区教育委員会指導室長　鈴木　英男

学校や学年で、目的地、時期、実施方法、その他について計画が立てられ、実地踏査によつて詳細な検討がなされたあと、教師は、これらの決定をもとにして、学級での事前指導を行なわねばならないが、その方法は、児童、生徒の発達段階に応じて一様ではない。しかし、一般にはつぎのような点について考えてみる必要があろう。

一、児童に計画を立てさせる。

学年としての計画を、たとえば、七時校庭集合、八時A駅出発、九時B駅着、バスで一〇時目的地着…四時A駅前で解散というように印刷物にして児童、生徒に配布し、これを説明するという方法がとられがちであるが、高学年では目的地はC県のD地だ、一〇時に到着したいのだが、何時に出発して、どういう方法でいけばよいだろうかという形で、家庭で調べさせ、その後、学校では臨時電車や貸切バスでいくと「こうなる」と理解させたり、中学年では、校庭集合は七時で、これに間に合うためには何時に起きて、何時にお家を出ればよいか、自分で考えてみましようというようにして、学年としての計画が、自分たちの計画として受けとめ得るような指導が必要ではなかろうか。

二、ねらいについての事前指導

校外学習のねらいは、学習の延長、生活指導レクリエーションなどの分野に分けられるが、それぞれ次の点を考えてみる必要があろう。

1　学習の延長。社会科、理科等の学習の延長というねらいからは、相当長期にわたつて計画的に校外学習に結びつけた教科時の指導と、場所や期日が決定したあとの、教師と児童、生徒の活動とによる絵葉書、写真、パンフレットなどの蒐集と、それを利用しての学習意欲の喚起ということなどが必要であるが、これらはとりたてて述べるまでもなく、意図的、計画的に指導されればよい。

2　生活指導。この分野は、極めて広範囲の内容であるが、衣服、小遣等の問題と、前日の注意、当日の朝の集合、乗り物、見学時、中食時や休憩時の注意などに分けられる。これらも、日程などと同じように、印刷物を渡して説明するという方法ではなく、いくつかの柱を立ててそれらについて学級会で話しあわれたことが、自分たちのきまりとして決定されていくように指導すべきで、その結果が印刷物になり、そして父兄にも配布されるという形が望ましいように思われる。このことは、児童、生徒が自分たちで決めたことを自分たちが守るということとそういうきまりを作るという過程に教育的な価値を発見することができるわけである。

この場合「集合時刻に遅れないように」ときめて、遅れた時はどうするかが定められなかつたり、しばしば具体性を欠く場合があるので、教師は、常に綿密な注意と適切な指導、助言を与えていかねばならない。

心配される食中毒と火災発生

保健所と消防署へ事前連絡

この春の修学旅行は、生徒増による旅行期間が七月の夏季まで延長されているので、旅館や休憩所における食べ物による食中毒や下痢などの患者の発生が予想される。このためには、事前に所管の保健所へ連絡して旅館の衛生状態をよく調査しておくことは勿論であるが、宿泊の際には教師が直接旅館の調理場や器物の衛生状態を調べ、また食事や弁当の内容にも十分注意する必要がある。特に仕出屋による弁当を注文する時は、下見の際に是非その現場の調査へ行く位の配慮があつてほしい。次に本年は表日本一帯に冬から春にかけて長期の異常乾燥期の続いたあとで、火災の発生が心配されるから、旅館における非常災害の対策が肝要である。

先づ旅館に着いたら、生徒に非常口の確認と退避の実地指導を行つておくことである。また、退避場所の選定、誘導方法、負傷者の応急処置、などを決め、旅行前に所管の消防署へ学校名、日時、宿泊旅館名、生徒数を知らせておくことは、万一急救患者発生の際に、急救車の手配が容易である。その外医師の連絡を容易にしておくことも忘れてはならない。

修学旅行地として飛躍した神戸市

全修協と座談会ひらく

神戸市の修学旅行を語る座談会が去る三月一日正午より、東京新宿伊勢丹百貨店七階特別室において木協会から山本理事長代理として事務局長永井照氏、同調査研究部長山本実氏、神戸市から観光課長中井　哲彌氏、桜井　係長、荒木課員、旅館代表として　山本　為治会長、三輪一清　理事、正垣　条一郎氏、土産物代表として松井佐和夫氏ら九名が集り開催された。

座談会は主として神戸市に入り込む各学校の修学旅行の現状に対し神戸港をはじめ市内の見学地や宿泊旅館、土産品をいかにして学校現場に認識させるかを中心に話が進められた。見学地は、日本の代表的な貿易港としての神戸港をはじめ、歴史的、地理的に数多くのものがあり、宿泊旅館もほぼ完備して、修旅地としての神戸市が、大きく飛躍していることが明らかにされた。種々有益な意見を交換して午後三時盛会に終了した。

専任職員おきはりきる

三重縣修旅委

既報の通り、東海地区は、全国各県の中でも、修学旅行委員会の最も先進的で活発な地域であるが、三重県においては、小、中、高校の輸送問題を、ほぼ解決し、これに伴う編成計画の樹立、及びこの調整業務を推進するためには、従来、委員会のもつていた編成会だけでは、とうてい細かい点まで手が回りかね、学校現場の要望にも充分こたえきれないうらみもありまた、これを解決するために、県当局と交渉を持ち、修学旅行研究会運営のための補助を県議会で議決させた。

この補助金を専任職員の人件費に充当し、委員会の機能をいよいよ最高度に発揮させることに決定した。これによつて今後の三重県修旅委の活動は大いに活発となり、春の修旅シーズンを迎えて、万全の態勢がととのつたわけである。新任の職員は運輸関係に経験のある若手の西村時次氏である。

（全修協三重県支部長伊藤好道）

先生だけの専用列車で、気軽に行ける

研修旅行へ

夏休みの教育視察に絶好の機会！

只今申込み受付中

★北海道一周ゴース
★九州一周ゴース
★山陰一周ゴース
★陸中．十和田ゴース　★南紀コース
★大島．富士ゴース　★信州コース

申込みと問合せは……○協会各県支部・或は募集機関又は
○近畿日本ツーリスト各県営業所へ

財団法人　全国修学旅行研究協会

環境と近代設備を誇る

修学団体　旅行のオアシス

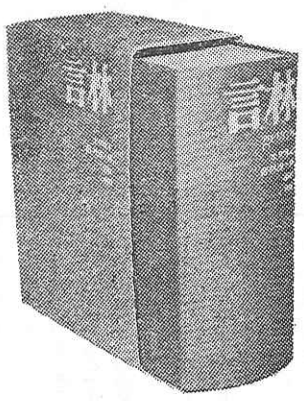
宿泊料金
中学生　400円（2食）　1000名様の収容力
高校生　500円（〃）　親切、丁寧、清純
一　般　750円以上（〃）　なサービス

来年度のご予約はお早くお申込みを

東京青年文化会館

東京都…駒ケ谷4の25　電話 東京(401) 5111～5（千駄ケ谷駅 代々木駅）徒歩3分

語数17万国語辞典の決定版



言林

文博　新村　出編　　定価　1400円

新版出来！

東京　小学館　神田一ツ橋

LIHIT LAB.